

## 2022年2月期 決算短信（2021年8月10日～2022年2月9日）

2022年3月17日

ファンド名 iシェアーズ JPX/S&P 設備・人材投資 ETF 上場取引所 東証  
 コード番号 1483 売買単位 1口  
 連動対象指標 JPX/S&P 設備・人材投資指数  
 主要投資資産 株式  
 管理会社 ブラックロック・ジャパン株式会社  
 URL www.blackrock.com/jp/  
 代表者 代表取締役社長 有田 浩之  
 問合せ先責任者 管理部門 法務部 猪浦 純子 (TEL)03(6703)4100  
 有価証券報告書提出予定日 2022年5月9日 分配金支払開始日 2022年3月18日

### I ファンドの運用状況

#### 1. 2022年2月期の運用状況（2021年8月10日～2022年2月9日）

##### （1）資産内訳

（百万円未満切捨て）

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 （負債控除後）		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	11,224	99.6	47	0.4	11,271	100.0
2021年8月期	17,730	99.6	67	0.4	17,796	100.0

##### （2）設定・交換実績

（千口未満切捨て）

	前計算期間末 発行済口数 ①	設定口数 ②	交換口数 ③	当計算期間末 発行済口数①+②-③
	千口	千口	千口	千口
2022年2月期	9,381	—	3,596	5,784
2021年8月期	5,331	4,050	—	9,381

##### （3）基準価額

	総資産①	負債②	純資産③ ①-②	1口当たり純資産額 ③/当計算期間末発行済口数
	百万円	百万円	百万円	円
2022年2月期	11,394	123	11,271	1,948.48
2021年8月期	17,914	117	17,796	1,897.07

##### （4）分配金

	1口当たり分配金
	円
2022年2月期	18
2021年8月期	10

#### 2. 会計方針の変更

- （1）会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
 （2）（1）以外の会計方針の変更 : 有・無

## II 財務諸表

## 【iシェアーズ JPX/S&amp;P 設備・人材投資 ETF】

## (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第11期 (2021年8月9日現在)	第12期 (2022年2月9日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	59,450,769	39,496,340
株式	17,730,481,620	11,224,877,060
未収入金	95,825,110	106,479,219
未収配当金	24,694,875	20,772,403
前払金	1,090,140	1,164,900
差入委託証拠金	2,475,000	1,554,000
流動資産合計	17,914,017,514	11,394,343,922
資産合計	17,914,017,514	11,394,343,922
<b>負債の部</b>		
流動負債		
派生商品評価勘定	1,093,807	799,733
未払収益分配金	93,810,730	104,123,394
未払受託者報酬	2,049,718	1,635,344
未払委託者報酬	13,528,496	10,793,481
その他未払費用	6,952,197	5,727,103
流動負債合計	117,434,948	123,079,055
負債合計	117,434,948	123,079,055
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	11,688,816,958	7,207,652,718
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	6,107,765,608	4,063,612,149
(分配準備積立金)	8,892,483	4,548,368
元本等合計	17,796,582,566	11,271,264,867
純資産合計	17,796,582,566	11,271,264,867
負債純資産合計	17,914,017,514	11,394,343,922

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第11期 (自 2021年2月10日 至 2021年8月9日)	第12期 (自 2021年8月10日 至 2022年2月9日)
営業収益		
受取配当金	122,657,000	118,121,543
受取利息	23	28
有価証券売買等損益	110,281,434	393,838,924
派生商品取引等損益	△1,325,371	△2,100,668
その他収益	349,376	61,634
営業収益合計	231,962,462	509,921,461
営業費用		
受託者報酬	2,049,718	1,635,344
委託者報酬	13,528,496	10,793,481
その他費用	7,201,191	5,975,101
営業費用合計	22,779,405	18,403,926
営業利益又は営業損失(△)	209,183,057	491,517,535
経常利益又は経常損失(△)	209,183,057	491,517,535
当期純利益又は当期純損失(△)	209,183,057	491,517,535
期首剰余金又は期首欠損金(△)	3,320,155,239	6,107,765,608
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,672,238,042	—
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,672,238,042	—
剰余金減少額又は欠損金増加額	—	2,431,547,600
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	—	2,431,547,600
分配金	93,810,730	104,123,394
期末剰余金又は期末欠損金(△)	6,107,765,608	4,063,612,149

### (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

#### 1 有価証券の評価基準及び評価方法

株式は移動平均法に基づき、原則として以下の通り時価で評価しております。

##### (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券

金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として当該取引所等における計算期間末日において知りうる直近の最終相場で評価しております。

##### (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券

当該有価証券については、原則として、金融機関の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。

##### (3) 時価が入手できなかった有価証券

適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

#### 2 デリバティブの評価基準及び評価方法

株価指数先物取引

個別法に基づき、原則として時価評価しております。時価評価にあたっては、原則として、当該取引所の発表する計算期間末日に知り得る直近の日の清算値段又は最終相場で評価しております。

#### 3 収益及び費用の計上基準

##### (1) 受取配当金の計上基準

受取配当金は原則として、株式の配当落ち日に予想配当金額を計上し、入金金額との差額については入金時に計上しております。

##### (2) 有価証券売買等損益及び派生商品取引等損益の計上基準

約定日基準で計上しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

当計算期間の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが当計算期間の翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当計算期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。これによる、財務諸表への影響は軽微であります。

また、金融商品に関する注記に記載の通り、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項の注記は行っておりません。

(貸借対照表に関する注記)

区分	第11期 (2021年8月9日現在)	第12期 (2022年2月9日現在)
1 当該計算期間の末日における受益権総数	9,381,073口	5,784,633口
2 1口当たり純資産額	1,897.07円	1,948.48円

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	第11期 (自 2021年2月10日 至 2021年8月9日)	第12期 (自 2021年8月10日 至 2022年2月9日)		
分配金の計算過程	A. 当期配当等収益額	123,006,399円	A. 当期配当等収益額	118,183,205円
	B. 分配準備積立金	2,476,219円	B. 分配準備積立金	8,892,483円
	C. 配当等収益合計額(A+B)	125,482,618円	C. 配当等収益合計額(A+B)	127,075,688円
	D. 経費	22,779,405円	D. 経費	18,403,926円
	E. 収益分配可能額(C-D)	102,703,213円	E. 収益分配可能額(C-D)	108,671,762円
	F. 収益分配金	93,810,730円	F. 収益分配金	104,123,394円
	G. 次期繰越金(分配準備積立金)(E-F)	8,892,483円	G. 次期繰越金(分配準備積立金)(E-F)	4,548,368円
	H. 口数	9,381,073口	H. 口数	5,784,633口
	I. 一口当たり分配金(F/H×計算口数)	10円	I. 一口当たり分配金(F/H×計算口数)	18円

(金融商品に関する注記)

I 金融商品の状況に関する事項

1 金融商品に対する取組方針

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。

2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク

当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券は株式であります。

当ファンドの主な投資リスクとして、「国内株式投資のリスク」、「有価証券の貸付等におけるリスク」等があります。当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、株価指数先物取引であり、有価証券の価格変動リスクを回避するため、または信託財産の効率的運用目的で行っております。株価指数先物取引に係る主要なリスクは、株式相場の変動による価格変動リスクであります。

3 金融商品に係るリスク管理体制

(1) 市場リスクの管理

ブラックロックソリューション・グリーンパッケージプロダクションチームが日次で計測し、運用部、その他の関係部署等にレポートをイントラネットで配信しております。また、運用ガイドラインのモニタリングはポートフォリオ・コンプライアンスチームが行っており、ガイドライン等を逸脱していた場合、関係部署へ報告され適切な調整を行います。

(2) 信用リスクの管理

ファンダメンタル債券運用部により、国内債券の個別信用リスク及び銘柄間の相対価値については独自の定量・定性分析等を行っております。外国債券銘柄等については、社内のリサーチ・データベースによりグローバル・クレジット・チームとの情報・分析結果を共有しております。

(3) 取引先リスクの管理

リスク・クオンツ分析部は当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームと共に既存の承認済み取引先の信用悪化のモニタリングを行っており、取引先のデフォルトに対する取引先リスク、発行体リスクのファンドへの影響を分析しております。また、新規取引先の承認に際しては、リスク・クオンツ分析部が新規取引先申請の内容に問題がないかどうか確認を行い、当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームへ申請を行っております。

また、毎月開催される投資委員会では、リスク管理・運用分析手法等について審議を行っております。

## II 金融商品の時価等に関する事項

第11期 (2021年8月9日現在)	第12期 (2022年2月9日現在)
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引については、「(その他の注記)」の「3 デリバティブ取引関係」に記載しております。 (3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。</p> <p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価額がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p> <p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 金銭債権については全て1年以内に償還予定であります。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 同左  (2) デリバティブ取引 同左  (3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 同左</p> <p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p> <p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 同左</p>

## III 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」附則(令和3年9月24日改正内閣府令第61号)第2条第5項に従い、記載を省略しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

## 1 期中元本変動額

項目	第11期 (2021年8月9日現在)	第12期 (2022年2月9日現在)
期首元本額	6,642,516,958円	11,688,816,958円
期中追加設定元本額	5,046,300,000円	—円
期中一部交換元本額	—円	4,481,164,240円

## 2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第11期 (2021年8月9日現在)	第12期 (2022年2月9日現在)
	当計算期間の損益に含まれた 評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた 評価差額 (円)
株式	95,422,440	129,451,545
合計	95,422,440	129,451,545

## 3 デリバティブ取引関係

取引の時価等に関する事項

株式関連

区分	種類	第11期(2021年8月9日現在)				第12期(2022年2月9日現在)			
		契約額等 (円)		時 価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)		時 価 (円)	評価損益 (円)
			うち 1年超 (円)				うち 1年超 (円)		
市場取引	株価指数 先物取引 買建	58,345,140	—	57,255,000	△1,090,140	37,683,900	—	36,886,500	△797,400
	合計	58,345,140	—	57,255,000	△1,090,140	37,683,900	—	36,886,500	△797,400

(注1) 時価の算定方法

(1) 株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は証拠金算定基準値段を用いております。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

(2) 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

(3) 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

(注2) 上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。